

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-333613

(43)Date of publication of application : 02.12.1994

(51)Int.Cl.

H01R 4/24

(21)Application number : 05-116994

(71)Applicant : YAZAKI CORP

(22)Date of filing : 19.05.1993

(72)Inventor : OKABE TOSHIAKI

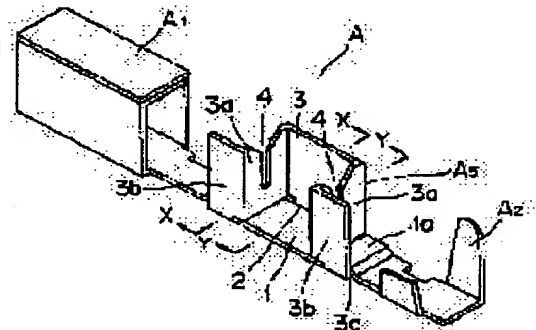
(54) CRIMP TERMINAL

(57)Abstract:

PURPOSE: To cope with the narrow pitch of a connector while preventing enlargement of a lateral width.

CONSTITUTION: A crimp terminal is provided with an electric contact portion A1 and electric wire connecting portions A2, A3. An erecting plate portion 3 is disposed on a base board 1 via a connecting portion 2 formed on the base board 1 in the electric wire press-contact portion A3.

Separation plate portions 3a, 3a connected continuously before and behind the erecting plate portion 3 are bent on the base board 1, and a pair of slots 4, 4 formed on the separation plate portions 3a, 3a are disposed opposite to each other. Bend reinforcing plate portions 3b, 3b disposed at the tips of the separation plate portions 3a, 3a are positioned on the other side of the base board 1. Locking pieces 3c, 3c provided at the lower ends of the bend reinforcing plate portions 3b, 3b are bent in engagement inward of step portions 1a, 1a.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-333613

(43) 公開日 平成6年(1994)12月2日

(51) Int.Cl.⁵

H 0 1 R 4/24

識別記号

庁内整理番号

9174-5E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-116994

(22) 出願日 平成5年(1993)5月19日

(71) 出願人 000006895

矢崎総業株式会社

東京都港区三田1丁目4番28号

(72) 発明者 岡部 敏明

静岡県榛原郡榛原町布引原206-1 矢崎

部品株式会社内

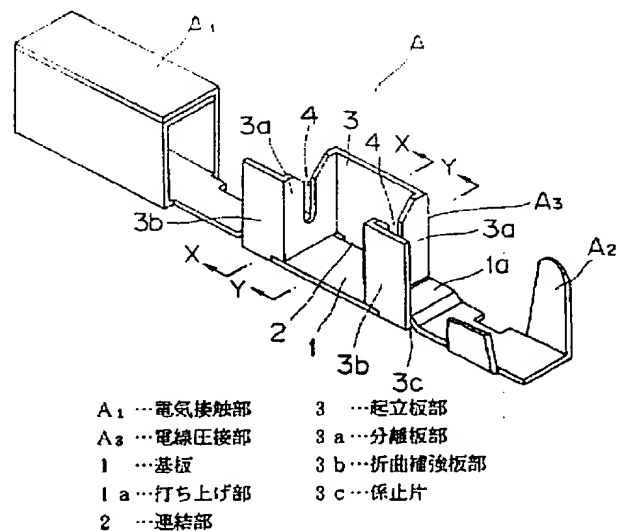
(74) 代理人 弁理士 瀧野 秀雄 (外1名)

(54) 【発明の名称】 圧接端子

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、横巾を拡大しないようにしてコネクタの狭ピッチ化に対応し得るようにした圧接端子に関するものである。

【構成】 電気接触部 A_1 と電線接続部 A_2 、 A_3 を有し、電線圧接部 A_3 において基板 1 上に該基板 1 の一側における連結部 2 を介して起立板部 3 を設けると共に、該起立板部 3 の前後に連設されている分離板部 3 a、3 a を基板 1 上に折曲して分離板部 3 a、3 a に形成されている一対のスロット 4、4 を相対向させ、分離板部 3 a、3 a の先端にある折曲補強板部 3 b、3 b を基板 1 の他側上に位置させると共に、折曲補強板部 3 b、3 b の下端に設けた係止片 3 c、3 c を基板 1 に形成した打ち上げ部 1 a、1 a 内に折曲して係合させて成る。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電気接触部と電線接続部を有し、電線接続部を構成する電線圧接部において基板上に該基板の一侧における連結部を介して起立板部を設けると共に、該起立板部の前後に連設されている分離板部を該基板上に折曲して該分離板部に形成されている一对のスロットを相対向させ、該分離板部の先端にある折曲補強板部を該基板の他側上に位置させると共に、該折曲補強板部の下端に設けた係止片を該基板に形成した打ち上げ部内に折曲して係合させて成ることを特徴とする圧接端子。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、スロットを有する電線圧接部を有し、該電線圧接部に電線を圧入することにより直ちに接続し得るようにした構造の圧接端子に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図5、6において（実開平2-137756号）、圧接雄端子aは一枚の導電金属板を打抜き折曲することにより（図6参照）、基板bに対してその前方に雄型の電気接触部cを形成すると共に、電気接触部cの後方において基板bの両側に起立側壁d、eを立ち上げ、一方の起立側壁dの前後における分離板部d₁、d₁を他方の補強用起立側壁e側に折曲すると共にその先端重合部d₂、d₂を該補強用起立側壁eに当接するように折曲して補強用起立側壁eの上端における爪部fを該先端重合部d₂、d₂上に折曲し、分離板部d₁、d₁に相対向した圧接用スロットg、gを形成して補強された電線圧接部hを構成し、電線圧接部hの後方に電線把持部iを設けている。

【0003】しかし、この構造にあつては補強用起立側壁eの厚み分だけ圧接端子aの横巾が拡大するので、コネクタの小型化ないしは狭ピッチ化に反することとなり、また補強用起立側壁eの面積分だけ材料の使用料が増大する欠点がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記した点に着目して為されたものであり、電線圧接部が十分な強度を有すると共に横巾を拡大させないように構成したものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明においては、電気接触部と電線接続部を有し、電線接続部を構成する電線圧接部において基板上に該基板の一侧における連結部を介して起立板部を設けると共に、該起立板部の前後に連設されている分離板部を該基板上に折曲して該分離板部に形成されている一对のスロットを相対向させ、該分離板部の先端にある折曲補強板部を該基板の他側上に位置させると共に、該折曲補強板部の下端に設けた係止片を該基板に形成した打ち上

げ部内に折曲して係合させる構成を採用した。

【0006】

【作用】スロットを形成した分離板部の先端にある折曲補強板部の係止片が基板の打ち上げ部内に係止しているので、移動を阻止された折曲補強板部が分離板部の倒れ込みを阻止する。

【0007】

【実施例】図1ないし図4において、圧接端子Aは、前方に雌型の電気接触部A₁を有すると共に、後方に電線把持部A₂を有し、これらの中に電線圧接部A₃を有し、電線圧接部A₃と電線把持部A₂により電線接続部を構成する。

【0008】電線圧接部A₃において、基板1上に一侧からの連結部2を介して起立板部3を設け、起立板部3に対して前後方向に延長して設けた分離板部3a、3aを基板1上に折曲して相対向させ、分離板部3a、3aの先端にある折曲補強板部3b、3bを基板1の他側上に位置させ、折曲補強板部3b、3bの下端に連設した係止片3c、3cを該係止片3c、3cに対向して形成されている基板1の巾狭打ち上げ部1a、1a内に折曲して固定する。そして、一对の分離板部3a、3aには相対向して一对の圧接用スロット4、4が形成されている。

【0009】上記構成において、電線圧接部A₃のスロット4、4内に被覆電線Wを圧入してその導体をスロット4、4の端面に圧接させ、電線把持部A₂により被覆電線Wを挾持して圧接端子Aに電線Wを接続する。

【0010】

【発明の効果】本発明は上記した如くに、電気接触部と電線接続部を有し、電線接続部を構成する電線圧接部において基板上に該基板の一侧における連結部を介して起立板部を設けると共に、該起立板部の前後に連設されている分離板部を該基板上に折曲して該分離板部に形成されている一对のスロットを相対向させ、該分離板部の先端にある折曲補強板部を該基板の他側上に位置させると共に、該折曲補強板部の下端に設けた係止片を該基板に形成した打ち上げ部内に折曲して係合させて成るものであるから、電線圧接部を折曲補強板部により補強しつつ該折曲補強板部を基板上に位置させた構成とすることにより圧接端子の横巾を拡大させることなくしてコネクタの狭ピッチ化に対応することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例について圧接端子の斜視図である。

【図2】同上の展開図である。

【図3】（A）は図1のX-X線断面図、（B）は図1のY-Y線断面図である。

【図4】電線を接続した状態の圧接端子の斜視図である。

【図5】従来の圧接端子の斜視図である。

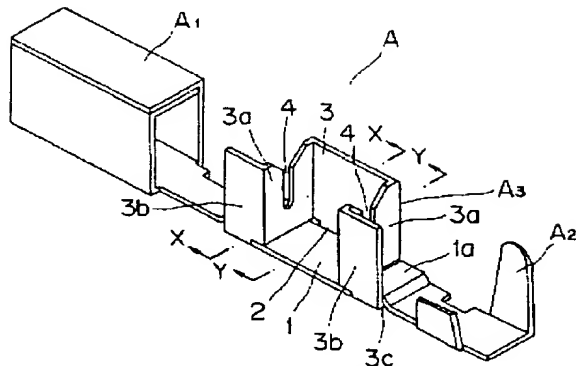
【図6】 同上の展開図である。

【符号の説明】

A₁ 電気接触部
A₃ 電線圧接部
1 基板
1 a 打ち上げ部

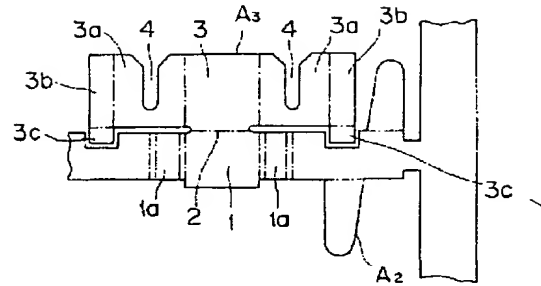
2 連結部
3 起立板部
3 a 分離板部
3 b 折曲補強板部
3 c 係止片

【図1】

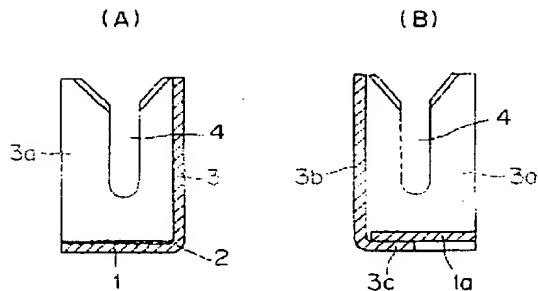


A₁ …電気接触部
A₃ …電線圧接部
1 …基板
1 a …打ち上げ部
2 …連結部
3 …起立板部
3 a …分離板部
3 b …折曲補強板部
3 c …係止片

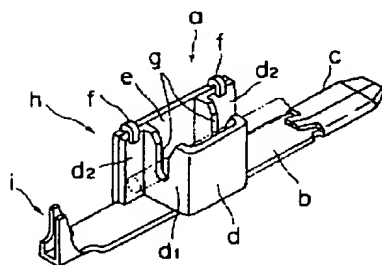
【図2】



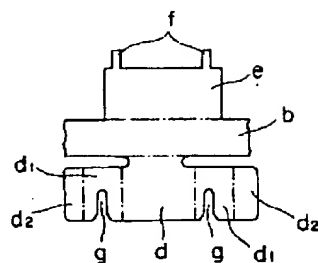
【図3】



【図5】



【図6】



【図4】

